

奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、研究機関の長の許可を得て行います。

① 研究課題名	高血糖による膵癌化学療法抵抗性の解明			
② 研究期間	実施許可日から 2025年12月31日			
③ 対象患者	対象期間中に当院で膵癌に対する手術を受けられた患者さん			
④ 対象期間	2006年1月1日から 2022年12月31日			
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学 消化器・総合外科			
⑥ 研究責任者	氏名	庄 雅之	所属	奈良県立医科大学 消化器・総合外科
⑦ 使用する試料・情報等	①臨床所見（年齢、性別、身長、体重、既往歴、腫瘍径、術式、無再発生存期間、全生存期間） ②血液検査所見（腫瘍マーカー（CEA, CA19-9, DUPAN-2）） ③病理学的所見（組織型、脈管浸潤の有無、リンパ節転移の有無、切除標本のパラフィンブロックよりGFAT, CD4・CD8・CD45ROなど腫瘍浸潤リンパ球について免疫染色を行う。）			
⑧ 研究の概要	難治癌の代表である膵癌ですが、抗がん剤治療と手術を組み合わせることで徐々に治癒できる患者さんが増加しています。しかし、予想できない急速な進行など、治療の反応には大きな差があります。近年、高血糖が腫瘍の増大や転移、化学療法への抵抗性に関わっていることが明らかになってきてきました。本研究では高血糖と癌の進行を結びつけるGFAT発現に着目し、予後との関連を検討することを目的とします。上記の臨床情報のうち、全生存期間を主要な評価項目とし、無再発生存期間、腫瘍浸潤リンパ球のGFATとの関連を副次の評価項目とします。			

⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2023年 10月 4日		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。ご希望される場合は、「⑬ 問い合わせ先・相談窓口」にご連絡ください。			
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。			
⑫ 個人情報の取扱い	カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。			
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学 消化器・総合外科 担当者：小原 有一朗			
	電話	0744-22-3051	FAX	0744-24-6866
	Mail	kohara@naramed-u.ac.jp		